



平成22年度第4回環境工学委員会研究ワークショップ

「環境工学の新しいチャレンジ：生物多様性と環境評価」

土木学会環境工学委員会

1997年の河川法改正、1999年の海岸法改正、2002年には自然再生推進法が成立し、生物多様性の確保や自然環境の保全への意識の高まりとともに、地球規模的な環境変化が叫ばれる中、土木工学の分野にも生態学を取り入れた環境保全に関する取り組みが数多くなされている。今年の名古屋で開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)も含め、土木・環境工学を基礎にする「環境」への新たな研究展望を模索するため、河川上流域から河口沿岸域における研究課題の整理と最新の話題提供を行う。

- 主 催：土木学会環境工学委員会
- テーマ：「環境工学の新しいチャレンジ：生物多様性と環境評価」
- 場 所：土木学会講堂 (<http://www.jsce.or.jp/contact/map.shtml>)
- 日 時：2011年3月16日（水）14：00～17：00
- スケジュール（予定）
 - 14:00-14:10 委員長挨拶，趣旨説明
 - 14:10-14:45 講演1：河川上・中流域での生物多様性と環境評価
土木研究所自然共生センター・センター長 萱場祐一氏
 - 14:45-15:20 講演2：河口・汽水域での生物多様性と環境評価
－底質毒性評価と都市域からの有害物質の影響－
東京大学環境安全研究センター・准教授 中島典之氏
 - 15:20-15:35 休憩
 - 15:35-16:10 講演3：干潟・沿岸域での生物多様性と環境評価
(独) 港湾空港技術研究所・研究主監 中村由行氏
 - 16:10-16:45 講演4：海域での生物多様性と環境評価
－有明海再生の指標種とその生息環境評価の試み－
いであ(株) 大阪支社・副支社長 堀家健司氏
 - 16:45-17:00 全体質疑あるいは総合討論

●申込方法

土木学会のホームページ (<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>) より専用フォームにてお申し込み下さい。申し込みが完了すると確認メールが届きます。そのメールが参加券になりますので、印刷して当日ご持参下さい。

●問い合わせ

<ワークショップの内容に関して>

土木学会環境工学委員会 ワークショップ担当

佐賀大学低平地沿岸海域研究センター 山西博幸 (yamanisi@ilt.saga-u.ac.jp)

<参加申し込みに関して>

土木学会研究事業課 (行事担当：二瓶)

TEL 03-3355-3559 / FAX 03-5379-2769

住所 〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目 (外濠公園内)

●継続教育 (CPD)

建設系協議会認定のプログラムです (認定番号：JSCE10-0858、単位数：2.8 単位)。